

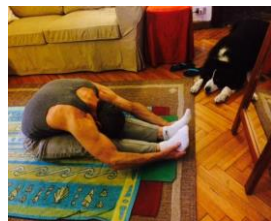
『 ベル・カント ニュースレター 』

マエストロからのメッセージ

日本の皆さん、今日は。

皆さんと会えない6ヶ月間を少しでも埋めるために、初めてのニュースレターを送ります。このニュースレターが皆さんにポーランドの風を届け、日本とイタリアの距離を縮めることができることを望んでいます。

この春日本から二人の生徒さんがポーランドへ集中レッスンとイタリア生活を体験しに来られました。遠い日本からイタリアまで来てくれた生徒さん、私にとって責任も感じながら喜びも大きい、とても嬉しい機会でした。今後も日本からどんどん生徒さん達が来てくれることを楽しみにしています。



「私は何故歌うのか?」。1人1人がこの問いに対する答えを出すために、生徒さんと一緒に探っています。その人だけのエネルギー、心、それを見つけ出して周りに伝えて広げて行く。そんな声や音楽は人と人をつなぐ架け橋になります。

この架け橋を日本に、世界に作って行くのが私の夢です。この7月も日本で皆さんと一緒に作って行きましょう。



《お知らせ》

マエストロの日本での日程**東京レッスン 2015年7月8日(水)～7月12日(日)**

場所:シンフォニー サロン 301号室

東京都江東区深川2-4-8

シンフォニービル

<http://www.symphonysalon.com/>

シンフォニー・ビルは門前仲町駅出口6番から徒歩約3分という絶好のロケーションにあります。門前仲町駅には地下鉄が二本(東西線・大江戸線)通っています。大手町駅から東西線で5分、大門駅(浜松町駅)から大江戸線で10分等々、都心からとても便利な駅です。門前仲町駅6番出口からスーパー赤札堂を背に右に歩き、高速道路をくぐってすぐの道(メガネ屋手前)を右折します。左手数件先の青空駐車場(大栄パーク)の先を左折して左手二軒目です。

神戸レッスン 2015年7月13日(月)～7月20日(月)

場所:100 BAN STUDIO 高砂ビル

神戸市中央区江戸町100番地

<http://www.100ban.jp/>

三宮駅(JR・阪急・阪神)から徒歩7分

東京でのイベント**オープンクラス ― ケイのレッスンの見学**

- 日にち: 7月10日金曜日
- 時間: 18:00
- 参加費: 無料
- 場所:シンフォニー サロン 301号室
- 予約不要。お友達と一緒にどうぞ。

ミニレクチャー ギャザリング

マエストロのプチ演奏、ミニレクチャー、と懇親会を行います。

- 日にち: 7月10日 金曜日
- 時間: 19:30
- 参加費: 無料
- 場所: シンフォニー サロン 301号室
- 予約必要。お友達とご一緒にどうぞ。

神戸でのイベント

コンサート&ワークショップ

今回はマエストロとピアニストの山中さんの演奏曲目を増やし、たっぷりお楽しみいただけるコンサートを行います。その後少し休憩をはさみ、参加者の中からご希望の方数名に体験レッスンをしていただき、お1人お1人へのアドバイスの中から、マエストロが声を通して伝えたいこと、目指したい場所についてお話しいただきます。終了後簡単な懇親会を行います。懇親会参加費無料です。心ばかりのプレゼントもございますので、皆さまどうぞ最後までゆっくりお楽しみください。

- 日にち: 7月14日 火曜日
- 時間: 18:30~21:10(懇親会終了時間21:45)
- 場所: Ricordi Saloon
神戸市中央区山本通 1-7-11 4F Demainビル
三宮から徒歩8分。兵庫県の玄関口 新神戸駅からもすぐ。
<http://ricordi.saloon.jp/web/>
- 参加費: 当日 5,000円(前売り 4,500円)
- コンサート&ワークショップ後マエストロを囲んでミニ懇親会を行います。(参加費無料)

《日本から生徒さんが来られました！》

ボローニャ滞在 神戸のレッスン生 高橋 和子さん

4月16日~5月14日まで、夫とともにマエストロの住むボローニャへ行ってきました。

私達が滞在していたのはマエストロと同じアパートメントの三階です。青色に塗られた高い天井、大きく開放的な窓、ベッドルームには天窓があつて、朝になるとそこから差し込む光と鳥の声で目覚める…そんな素敵なお部屋でした。

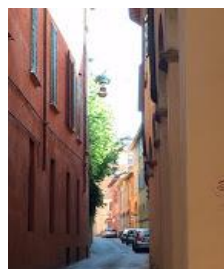
平日は毎日階段をパァ〜と下りていってマエストロの部屋のインターフォンを鳴らし、温かいハグで出迎えてもらってレッスンが始まる充実の日々。滞在が一月間しかないと思うと一日一日一瞬一瞬がとても大切に感じられて、レッスンでも家事でも過ごす時間がキラキラ輝いて楽しくて仕方がなく「今を生き」「今を味わう」ということを経験できたように思います。

普段の生活については、私は英語もイタリア語もできない上に旅行以外で海外に滞在するのはこれが初めてで、全てが挑戦。初めて一人で買い物をした時、初めて一人で街の中心部まで歩いた時、初めて一人でバスに乗った時…どんな場面でもマエストロの「心配しない」「楽しんで」という言葉を思い出し乗り越えることができました。

「昨日まで怯えていたことが今日は平気になっている」そんな小さな成長を実感できる機会が頻繁にあつて、ボローニャの暮らしそのものがまるでレッスンの続きのようでした。

私のレッスンには毎回通訳のケイちゃんと撮影担当の主人が同席してくれましたが、そんな有り難く恵まれたサポートに対して「申し訳なさ」を感じたり「期待に応えない」と責任を感じてしまっていた私。ボローニャでのレッスンはまず私のそういった余計な緊張をほぐし「周りの人からの愛を受け取る」ところからスタートしました。

レッスンを重ねていくなかで次々に出てくる私の思い込み、癖やトラウマ。そしてそれを乗り越えるためのヒントや選択肢を与えてくれるマエストロからの真理の言葉の数々。「私ってこんなに繊細なの!？」と驚きつつ、そのアドバイスを消化することに追われる日々でした。さらにレッスン以外にも週3回朝昼晩の筋トレ、食事の改善、マエストロに紹介



していただいたカイロプラクティックの先生のエクササイズに取り組み、心だけでなく身体にもアプローチしてきました。

「声は自分そのもの」というマエストロの言葉の通り、心と身体が整っていくのに合わせて声もどんと変わっていき、最終レッスンでは私にとっての大きな壁を乗り越え、涙を流しながら大好きな歌を歌うことができました。

恵まれた環境で歌に集中したこの一ヶ月間、また一步「本来の自分」に戻ることができたと思います。

マエストロ、ケイちゃん、主人、今回の滞在に関わった全ての方の、サポートと愛に感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。



2015年5月23日 高橋和子

ボローニャ日記 東京のレッスン生 榊 大志さん



5/25 (晴時々雨)

ボローニャに来て十日目の朝。ギリギリまで寝ていたの、朝食はビスケットと鱈の干物を少し。あとミックスジュース。

11時、三階の借りている部屋から一階のマエストロの家へ登校。

通学時間一分。満員電車は夢のまた夢。素晴らしい。

前にいた生徒さんと入れ替わる形でレッスン室へ。

いつ行っても前にも後にも生徒さんがいる。マエストロ大人気だ。

しかも皆キラキラした目をして、自信にあふれていて楽しそう。

レッスンは毎日違う。というより情報量が多すぎて毎回覚えていられない。

- ・身体の重みを感じる
- ・呼吸を楽しむ
- ・直感を使う
- ・自分とコミュニケーションをとる

この四点だけは一貫して言われる。

声がどう変わったか、練習のどの部分がどこに効いているか、自分は専門家ではないので全く分からない。ただ感情と身体になにか変化が起きているのだけは分かる。

とにかく楽しい。たまに、自分からこんな音が出るのかとびっくりする。

先週の終わりから曲をやりだした。練習曲とでもいうのだろうか。作曲者の名前だけ覚えた。パノフカさん。

メロディがどれも綺麗で心地よい。今日やり始めた No.4 は難物だった。息継ぎが出来ない。分かっている。自分の所為だけでも。出来ないものは出来ないの。まあ、少しずつ仲良くなろう。

練習のためにと思って自分の声を録音して聞いてみたら、すごく後悔した。一週間練習したからさぞかしグッドヴォイスになったかと思ったけれど、甘かった。ひどい。録音した自分の声を聞くと相変わらず妙なくすぐたさに悶絶する。



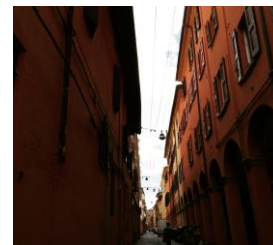
マエストロの声は録音してもすごく綺麗なのにな。まあそれはそうか。

1コマ目のレッスンが終わって近くの行きつけのカフェに。行きつけのカフェ。いい響きだ。カプチーノとカプレーゼ、あとモッツアレラと水菜？のサンド。おばちゃんがトースターで焼いてくれるサンドはたまらなくおいしい。カプレーゼなんて本当に生地、トマト、モッツアレラだけなのに。あと塩とオレガノが少々。

このカフェに限らず、ボローニャの食はとでも豊かだ。ジェラテリア、カフェ、トラットリア、スーパーのお惣菜コーナー。マックすらなんだか美味しく感じる。食材本来の味がする、とでもいうのか。

3時から2コマ目のレッスン。腰の硬さをほぐすため新しいエクササイズを教えてください。静かな部屋で音も無く腰を回す二人の男。しかも中腰。それを見つめるケイさん。なんの講座だこりゃあ。ただ。格好はジョークみたいでも、誓って言うけれど、エクササイズはどれもすごく効く。

レッスンが終わって日課の散歩へ。



何の予備知識もなく来てみたらあまりの景観の良さと歴史の重みに圧倒され、少しずつボローニャの街についても調べはじめた。今の街の形の礎が出来たのは紀元前88年頃だといからその古さは筋金入りだ。ヨーロッパのなかでもこれだけ古い町並みが残っている都市は珍しいそう。

石造りの重厚な建物、素焼きのテラコッタの瓦、目を射抜くような鮮やかな赤、石畳とポルチコ(石造りのアーケード)がどこまでも続く街は、これぞヨーロッパの古き良き町並みという趣だ。観光パンフレットじゃないけれど、本当にそうとしか言えない。

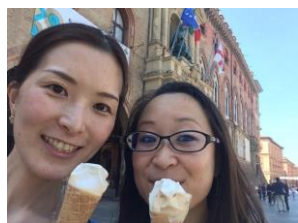
夜。おうちでご飯。部屋でソファに座ってこれを書いている。

なんでここでレッスンを受けているか、なにがしたくてここに来たのか。たまに自問自答しながら、歌うの楽しいし良いや、と放り投げていた疑問。

自分をあらわしたいのだ。自由に歌いたいのだ。そのための方法を知りたいのだ。自分を知りたくて、ここまでやってきた。その答えはマエストロがくれるものではなく、自分の中を覗き込むことでしか知れない。

ただ、機会をくれたマエストロと通訳のケイさん、また協力してくれた全ての人、特にここで一緒に遊んでくれて、限られた機材で魔法のようにおいしいご飯を作ってくれる妻。本当にありがとう。

ケイのボローニャ感想



私は今回がボローニャに来るのが2回目です。去年はマエストロのレッスンを(偶然に)1回受けるチャンスが有り、マエストロに「ボローニャに来なさい」と言われ、あまり深く考えず来ました。その後初めて7月にマエストロの来日を手伝うチャンスが出来ました。7月も1月も思ったことは、人のレッスンを見て勉強になるということです。目の前のレッスンの中に、目に見えない物が有る。今回ボローニャで二人の生徒さんのレッスンを通訳して見ながら滞在期間での成長を見、感動しました。



イタリアでプロで活躍されているマエストロの生徒さんのライブやコンサート、レッスンまで見学させて頂き、毎回新しい見方、又はマエストロにいつも言われている事が新たに響きました。

ボローニャではマエストロは先生方のコースを行っています。日曜日の午後7時間ぐらいかけ、何人かの先生が集まり、自分の生徒のレッスンを一般の人々に公開で行い、その後レッスン内容や教え方について話します。そのコースを私も見学させて頂きました。

マエストロ、ベル カント、の教え方は、生徒が心地よく、自分のままでいられる歌い方を(生徒さんのために)行う事。生徒さんに対して何が必要か。一人一人違う体、性格、心、声を持つ、その人に対してどう言うアプローチが必要か、一人一人に合わせる教え方。そんな柔軟性あふれるレッスンを受けると、人生の見方、生き方が変わるはずだと心から思いました。



去年は初めての体験だったので、何が何かわからず、ただ「歌うのが好き」でボローニャに行きました。しかしレッスンを受ける度、「自分」に出会う、接する機会が出てきました。日本に帰って7月と1月のレッスンを通訳しながら、レッスンをしながら、レッスンで行われていることを新たに聞き、気づきました。

今年は日本から二人の生徒さんがボローニャに来る事になって、またボローニャに行く機会が出来ました。1年たって再び来ました。もちろん1年前に比べたら事情、自分も変わっています。レッスンを初めて1週間、10日間がたち、自分では納得できる声になかなか出ない。有るレッスン中、自分にたまったストレス、感情が溢れこぼれてきました。自分で整理、解決していたつもりの物が実際は声、又は自分、にブロックをかけていました。

その後喉も楽になり、声のもすごく自由に出るようになりました。それから「歌う」と言う事は私にとってどう言う意味か見え始めました。と言う事は、さらに「歌う」ことで、「自分」にもっと深く入り、本来の自分にどんどん近づいて行けるようになります。

「自分」と言う存在、調和が取れている(本来の)自分。この状態、存在、から湧くエネルギー、力。素直。自然。本来の自分。これを声として出す。これが「歌う」と言う意味かもしれないですね。

